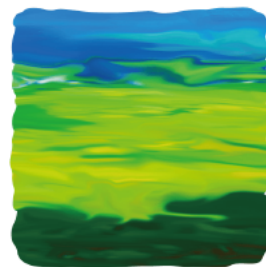


持てるすべてを「いのち」に向けて。  
Dedicated to sustaining all life.

# 2025年度第1四半期 決算概要説明資料

---



NORINCHUKIN

農林中央金庫

2025年8月6日

- 安定的な黒字と強固な収益基盤の確立に向けた取組みの進展により、連結純利益は582億円に改善
- 引き続き、2025年度通期では黒字となる見通し（300～700億円程度）

【連結】 (単位：億円)

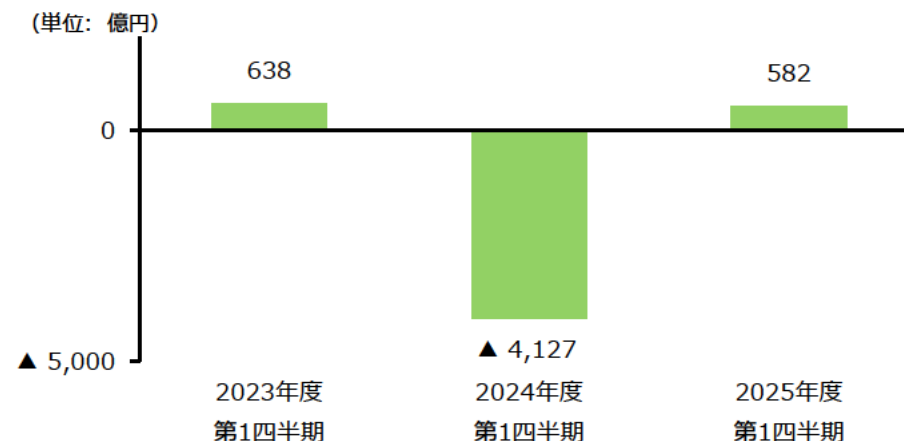
	2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	増減
1 経常収益	6,222	5,496	▲ 725
2 うち資金運用収益	5,180	4,178	▲ 1,002
3 (有価証券利息配当金)	3,686	2,747	▲ 938
4 (貸出金利息)	1,130	1,055	▲ 74
5 経常費用	10,013	4,929	▲ 5,083
6 うち資金調達費用	6,952	4,130	▲ 2,822
7 (信連等調達費用)	762	1,009	247
8 うち事業管理費	478	439	▲ 38
9 経常利益又は経常損失(▲)	▲ 3,790	566	4,357
10 税引前純利益又は税引前純損失(▲)	▲ 3,777	564	4,342
11 親会社株主帰属純利益又は純損失(▲)	▲ 4,127	582	4,710

【単体】

	2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	増減
12 経常利益又は経常損失(▲)	▲ 3,796	712	4,508
13 純利益又は純損失(▲)	▲ 4,122	752	4,874
【参考値(単体)】			
14 有価証券売却損益	▲ 1,687	486	2,174
15 投資信託解約損益および 金銭の信託内売却損益	▲ 326	25	352
16 与信関係費用(▲)(※)	20	11	▲ 8
17 有価証券償却(▲)(※)	91	▲ 0	▲ 91

※ 与信関係費用、有価証券償却のマイナス(▲)は戻入

## ■ 純利益の推移 (連結)



## ■ 収支イメージ (安定的な黒字)



- 総資産および純資産の残高は、前年度末から概ね横ばいで推移

## 【連結】

(単位：億円)

	2025年3月末	2025年6月末	増減
1 貸出金	181,586	185,541	3,954
2 有価証券	313,151	315,395	2,243
3 金銭の信託	79,350	73,798	▲ 5,551
4 現金預け金	207,450	192,007	▲ 15,442
5 その他	53,449	57,351	3,901
6 資産の部合計	834,988	824,094	▲ 10,894
7 預金等(※)	585,259	567,063	▲ 18,195
8 農林債	4,498	4,356	▲ 141
9 売現先勘定	56,647	67,128	10,480
10 その他	141,429	136,942	▲ 4,486
11 負債の部合計	787,834	775,491	▲ 12,342
12 純資産の部合計	47,154	48,603	1,448

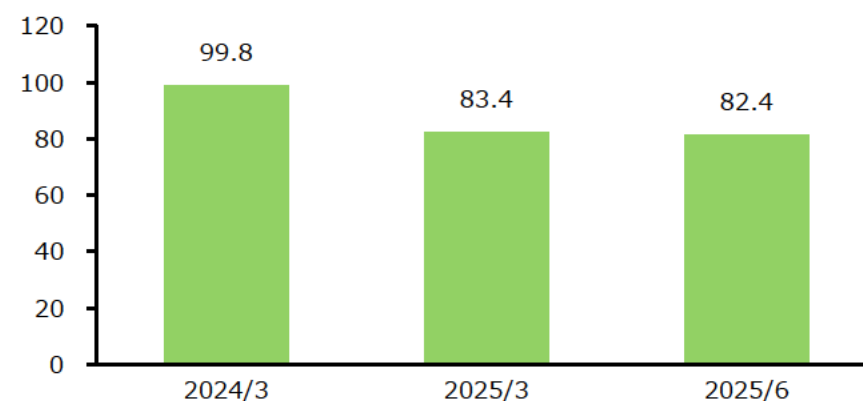
※ 預金等は会計上の預金および受託金。受託金は会員からの短期資金受入が大宗

## 【単体】

	2025年3月末	2025年6月末	増減
13 資産の部合計	795,599	783,870	▲ 11,728
14 負債の部合計	752,192	738,501	▲ 13,690
15 純資産の部合計	43,406	45,369	1,962
16 その他有価証券評価損益	▲ 5,500	▲ 4,274	1,226

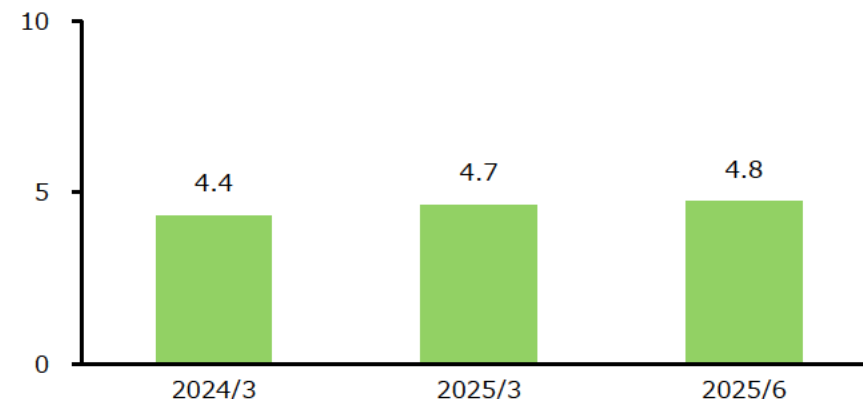
## ■ 総資産の推移 (連結)

(単位：兆円)



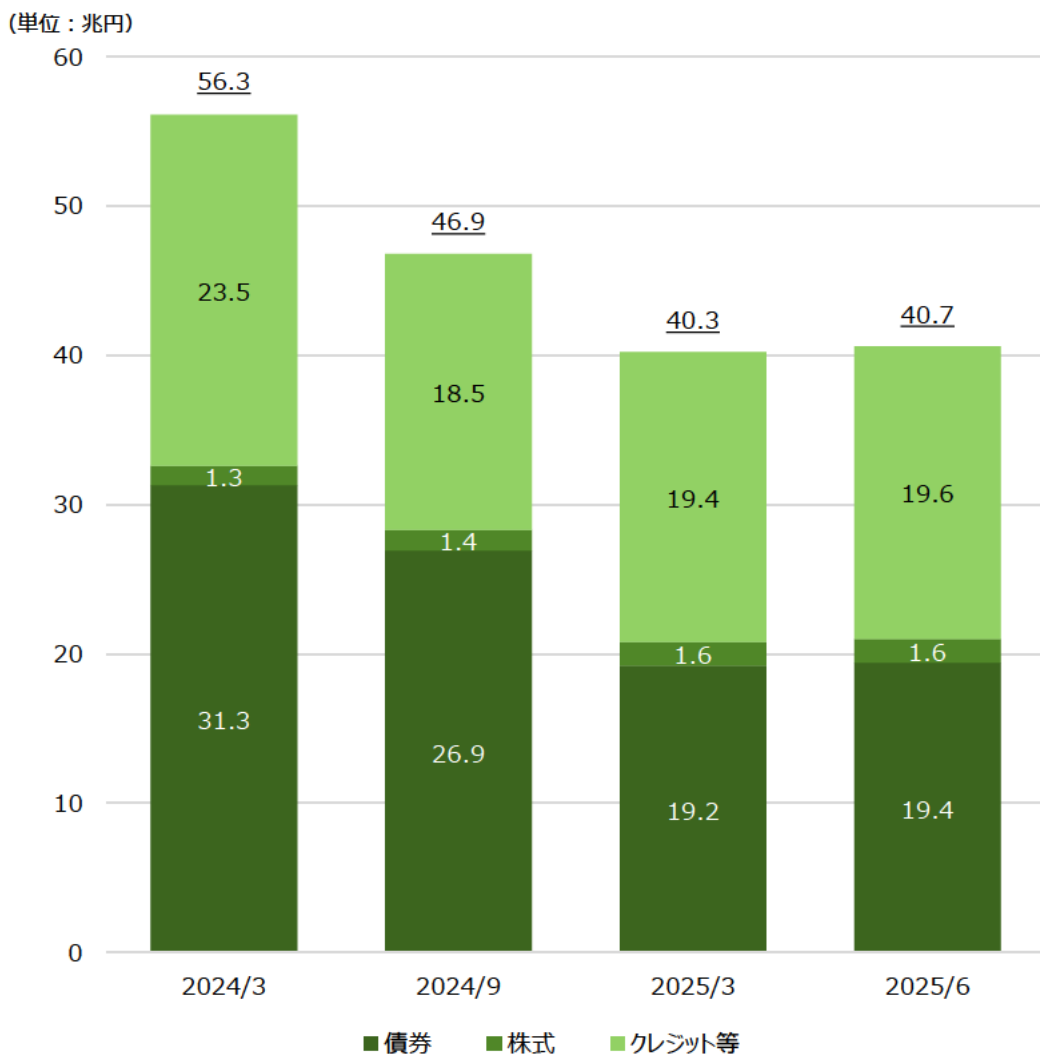
## ■ 純資産の推移 (連結)

(単位：兆円)

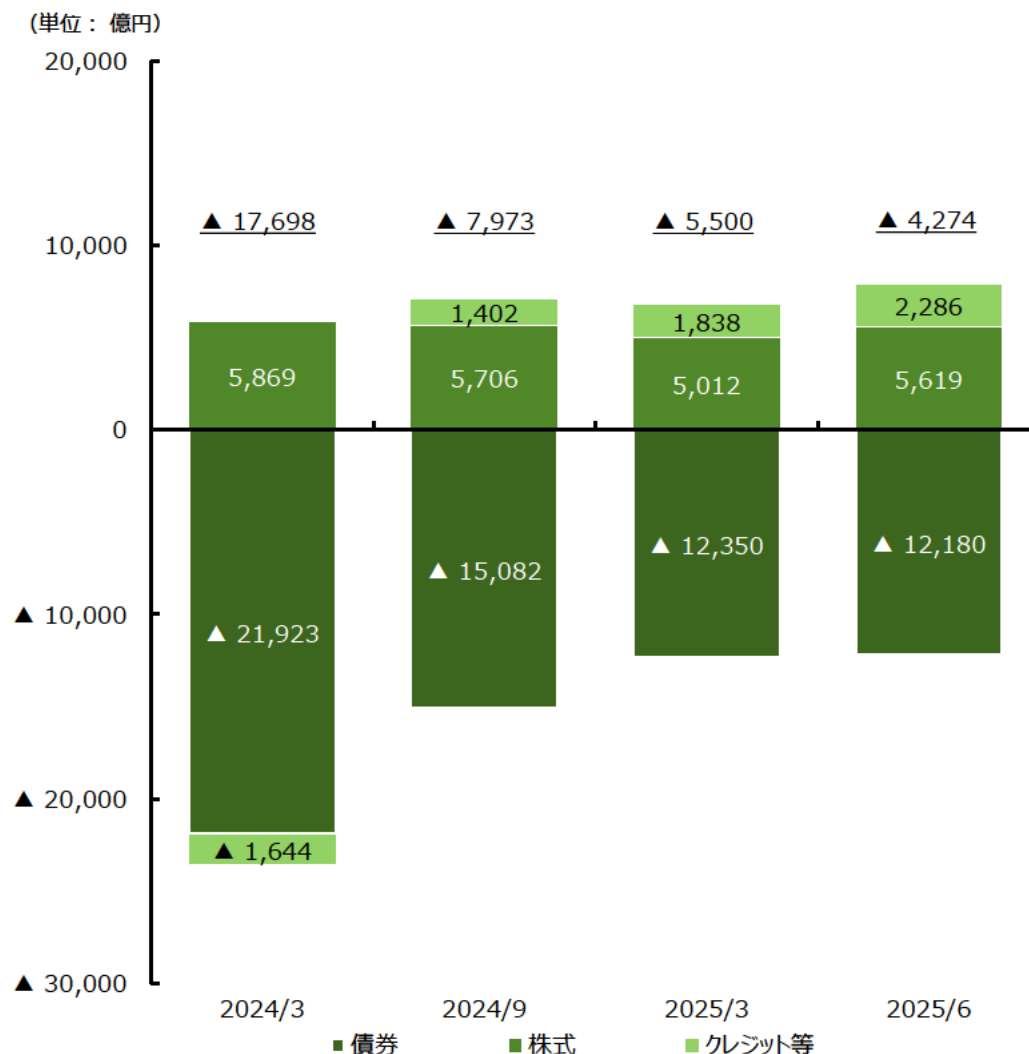


- 市場運用資産残高は、償還や為替レート等の減少要因を新規投融資が相殺し、前年度対比概ね横ばいで推移
- 有価証券評価損益は、株式やクレジット資産を中心に前年度末比改善

## ■ 市場運用資産の残高推移



## ■ 有価証券評価損益の推移



# Appendix

---

- 財務の健全性を維持しながら、「2025年度以降の安定的な黒字」、「強固な収益基盤の確立」の実現に向けて、収益源の分散化、財務運営の強化、リスク管理の強化の取組みを進展

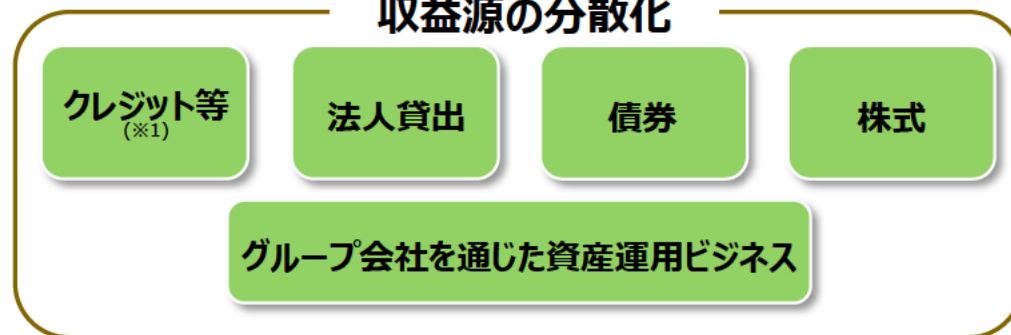
## 2025年度以降の取組み

### 安定的な黒字（イメージ）



### 強固な収益基盤の確立

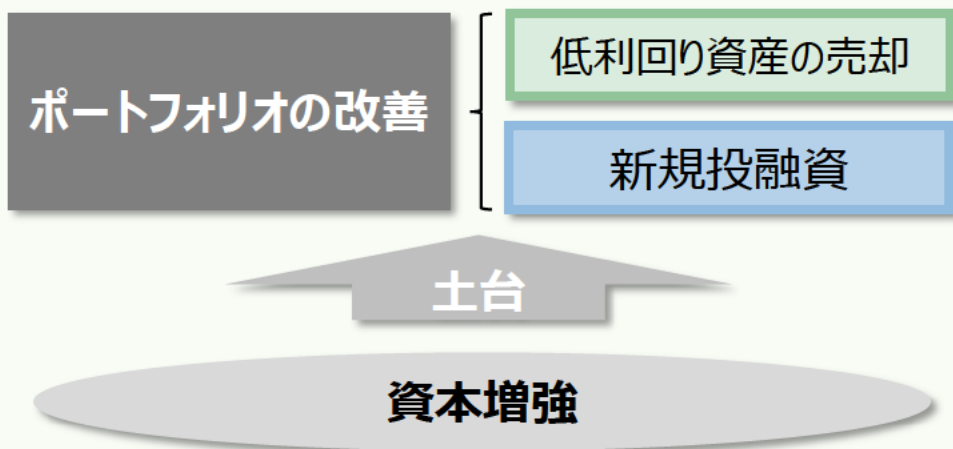
#### 収益源の分散化



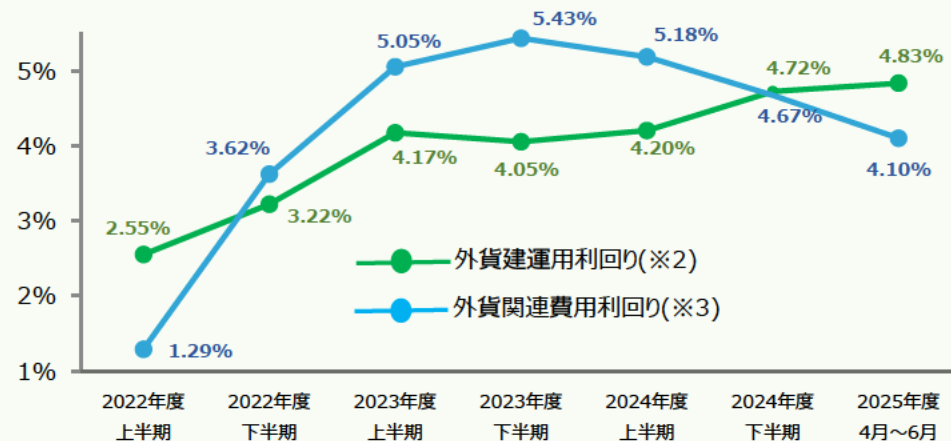
#### 財務運営・リスク管理の強化

※1 クレジット投資、オルタナティブ投資、プロジェクトファイナンスなど

## 参考：2024年度の取組み



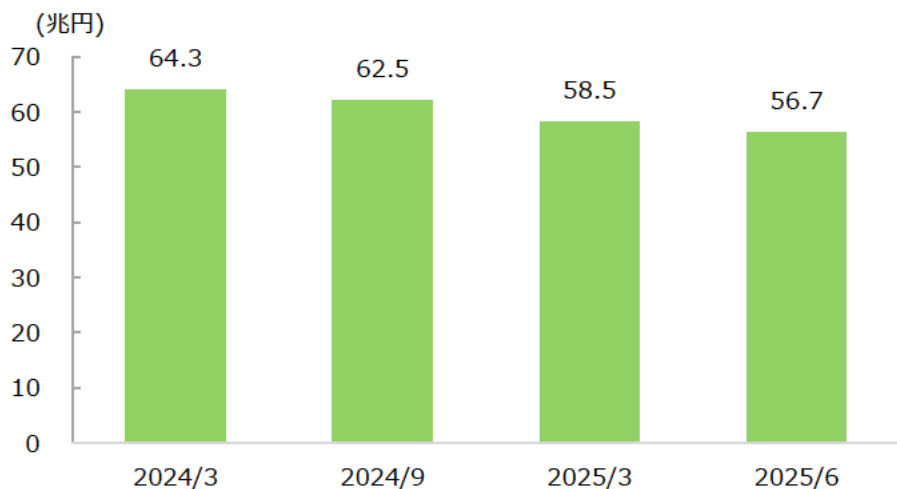
## 参考：外貨建運用・調達状況



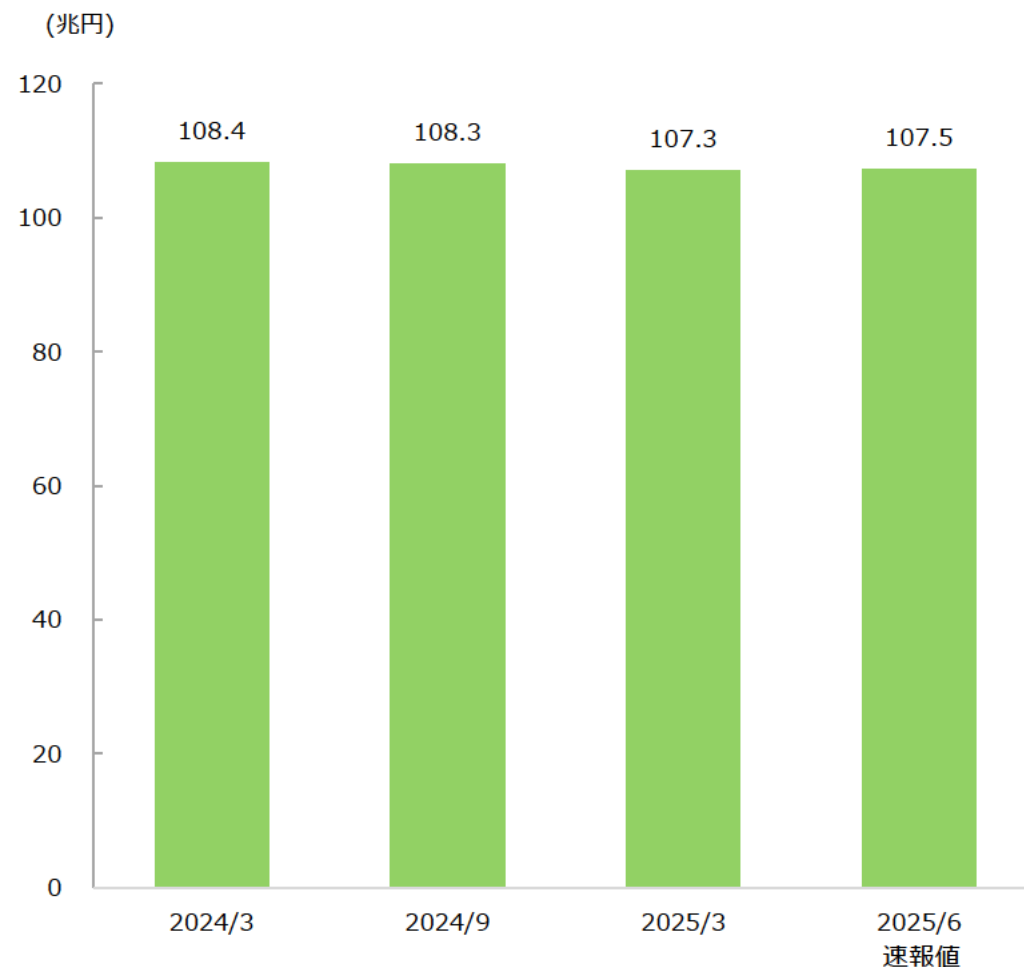
※2 外貨建有価証券（売却損益を除く）および外貨建貸出金 ※3 オフバランス取引含む

- 預金等の残高は、外貨市場調達手段の振替えを主因に前年度末比減少<sup>(※1,2)</sup>
- 預金等の内訳は、引き続き会員からの安定的な預入が大宗

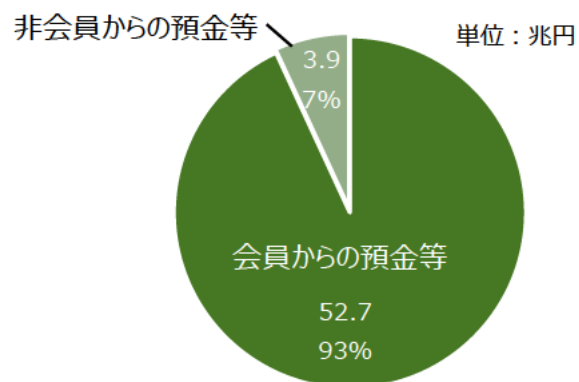
## ■ 預金等の推移 (単体)



## ■ (参考) JA貯金残高の推移

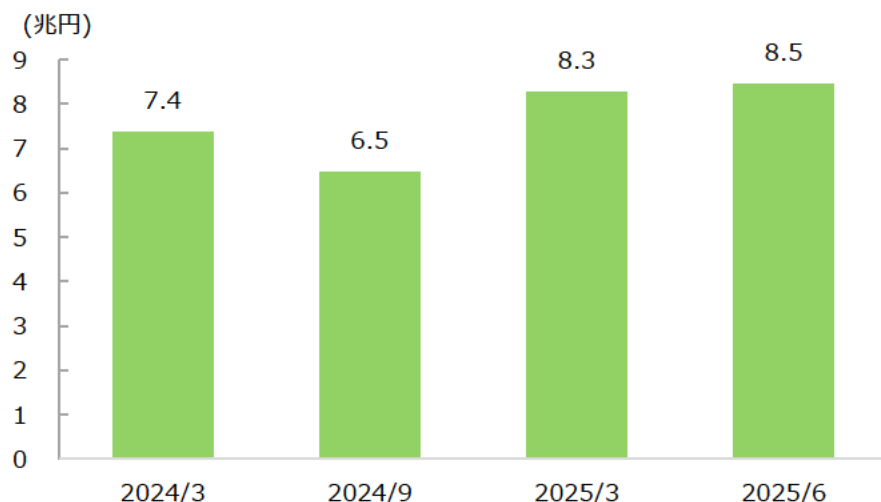


## ■ 預金等の内訳 (2025年6月末時点・単体)



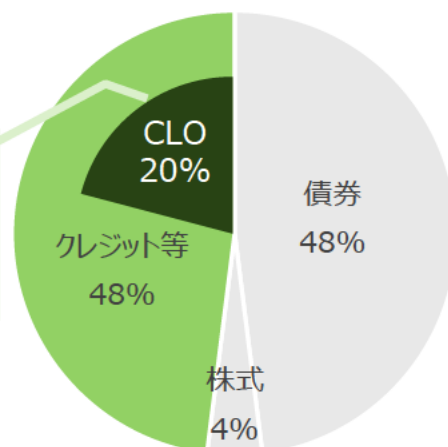
※1 預金等は会計上の預金および受託金    ※2 金銭の信託を用いたレポ調達(会計上預金に分類)の他の調達手段への振替え

## ■ 投資資産の残高



## ■ 市場運用資産に占める割合・資産内容

- 市場運用資産の約20%
- 全てAAA格
- 全て満期保有目的



## ■ 投資にあたっての分析・リスク管理

投資対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AAA格に限定</li> </ul>
裏付資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 組入可能資産についての厳格な基準設定</li> <li>• 裏付資産内の個別銘柄・業種の分析</li> </ul>
ストラクチャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 信用補完水準等についての独自ガイドライン</li> <li>• 当金庫独自の厳格なストレステスト</li> <li>• ミドル部門による全件審査</li> </ul>
運用マネージャーの選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 投資前のデューデリジェンスを通じた、運用能力・投資スタンスの確認</li> </ul>
投資後のモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>• マネージャーとの綿密なコミュニケーション</li> <li>• 投資ガイドライン遵守状況、運用方針、裏付資産の質等の確認</li> </ul>

※四捨五入のため、各数値の合計が100%とならない場合があります

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等についての検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。当金庫は、本プレゼンテーション資料に記載されている情報の利用から生じる損害が直接的、また、間接的であるかに関わらず、何ら責任を負いません。
- 本プレゼンテーション資料には、当金庫に関連する予想、見込み、見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本プレゼンテーション資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。当金庫は、これらの記述に対する更新の義務を負いません。
- 本プレゼンテーション資料は、有価証券の販売のための勧誘を構成するものではありません。